

Mission: Engineering for Sustainable Growth of the Global Community

Vision: Global Leading Engineering Partner

Values: Integrity, Creativity, Diversity, Learning, Team



経営方針

2018年3月期 第2四半期決算説明会

2017年11月10日

東洋エンジニアリング株式会社

1. 上期業績と通期見込
2. メガプロジェクト状況
3. 進行中の主要プロジェクト
4. 今後の受注見通し
5. 企業基盤の強化

1. 上期業績と通期見込

(単位：億円)

	2017/9/30 実績	通期見込	進捗率 通期見込比
		5/19付	
売上高	1,809	3,700	49%
売上総利益	121	275	44%
売上総利益率	6.7%	7.4%	
販管費	102	210	49%
営業利益	19	65	29%
営業外損益	7	△15	
経常利益	26	50	52%
当期純利益	11	20	55%
受注高	1,080	2,500	43%

◆ 配当：期末15円（予定）

◆ 米国・エチレンプロジェクト


- 重量物据付完了、鉄骨・配管工事等、現在現場工事はピークに到達しており、来期完工に向けて進行中
- 例年にない長雨、大型ハリケーン等による影響の最小化に注力


◆ マレーシア・エチレンプロジェクト

- 配管・電気工事等、現場工事のピークが続いており、管理要員を増強し、スケジュール確保に尽力中


3. 進行中主要プロジェクト


2017年9月30日現在


 ロシア
2013 製油所近代化


 トルクメニスタン
2014 ガス石化コンプレックス


 インド
2015 肥料


 マレーシア
2014 エチレンコンプレックス

 インドネシア
2017 ポリエチレン
2017 天然ガス圧縮設備
2015 合成ゴム
2015 都市高速鉄道

 日本
2017 メガソーラー x1基
2015 メガソーラー x1基
2014 メガソーラー x1基

 タイ
2017 ガス発電SPPx1基
2016 ガス発電SPPx5基
2015 ガス発電SPPx3基

 米国
2015 エチレン

 ブラジル
2013 FPSO トップサイド
(P-74)

※表示は受注年度

4. 今後の受注見通し

<重点施策>

- 営業・プロジェクトの一体化による初期段階からの提案力強化
- 技術力・パートナーリング・コストダウンによる競争力の追求
- EPCの知見を活かしたO&Mや事業運営への参画

<下期注力案件>

◆ プラント事業

- インド、東南アジア、ロシア、中央アジア等での石油化学、肥料案件
- 国内での石油化学、医薬案件

◆ インフラ事業

- 国内でのガス火力、メガソーラー、バイオマス発電案件
- 東南アジアを中心とした発電案件

◆ 資源エネルギー事業

- GESA*に基づく油・ガス田開発支援業務

- ◆ インフラビジネスの拡大
- ◆ グループ全体の要員適正化
- ◆ プロポーザル・受注活動を強化しつつ、販管費の抑制を徹底
- ◆ 新規事業の育成
 - 省エネルギー型蒸留システム*SUPERHIDIC*®
 - IoTを活用したDigital Fertilizer
 - 人工光型野菜工場、等



東洋エンジニアリング株式会社

URL <http://www.toyo-eng.com>

【お問い合わせ】

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-8-1

広報・IR部長 飯田 渉

電話 047-454-1681

E-mail ir@toyo-eng.com

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断にもとづき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知おきください。